

調査・研修等計画届出書

令和 元年 10月 25日

瀬戸市議会議長 様

議員名 宮薗 伸仁 

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 元年 10月 30日から 10月 31日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	第 14 回全国市議会議長会議長会 研究フォーラム in 高知	
会場名（会場所在地）	高知県高知市布師田 3992-2 高知ぢばさんセンター	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	<p>本年度のフォーラムでは高知県高知市において「議会活性化のための船中八策」をテーマとし、議会活動の実際と今後の議会のあるべき姿について討論を行う。</p> <p>議会として本年度は議会基本条例の見直し評価が予定されており、この研修を活用し議会改革推進の参考としていく。</p>	
議長名の依頼	要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/>	依頼先（名称）
同行者名	山田治義・富田宗一・小沢勝・西本潤・長江公夫・三木雪実 戸田由久・朝井賢次・柴田利勝・高島淳・11名	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和元年 11月13日

瀬戸市議会議長様

議員名 宮薗 伸仁



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 10月30日から10月31日まで（1泊2日）
調査先・研修名	第14回全国市議会議長会議長会 研究フォーラム in 高知
会場名（会場所在地）	高知県高知市布師田 3992-2 高知ぢばさんセンター
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	本年度のフォーラムでは高知県高知市において「議会活性化のための船中八策」をテーマとし、議会活動の実際と今後の議会のあるべき姿について討論を行う。 議会として本年度は議会基本条例の見直し評価が予定されており、この研修を活用し議会改革推進の参考としていく。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
基調講演 「現代政治のマトリクス-リベラル保守という可能性」 中嶋 岳志 [東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授]	
パネルディスカッション 「議会活性化のための船中八策」 コーディネーター 坪井ゆづる氏 [朝日新聞論説委員]	
パネリスト 高部 正男 氏 [市町村職員中央研修所学長] 横田 韶子 氏 [㈱コラボラ代表取締役、御茶の水女子教授] 古川 康造 氏 [高松丸亀町商店街進行組合理事長] 田鍋 剛 氏 [高知市議会議長]	

課題討論

「議会活性化のための船中八策」

コーディネーター 坪井ゆづる氏 [朝日新聞論説委員]

事例報告者

滝沢 一成 氏 [上越市議会議員]

久坂 くにえ氏 [鎌倉市議会議長]

小林 雄二 氏 [周南市議会議長]

調査先（主な質疑・応答内容）／研修（受講後の感想）

1、政治のマトリクス

① 配分をめぐる軸 Y軸

セーフティーネット強化（リスクの社会化） VS 自己責任（リスクの個人化）

② 価値をめぐる軸 X軸

リベラル VS パターナル

政治の仕事は「お金」と「価値」にわけられる。

税金を公共工事と社会保障に富の再配分を行う。

リスクに対して個人で対応する自己責任型 小さな政府

社会で対応する社会全体 大きな政府

政治家のスタンスがどちらを志向しているのか重要な指標となる

政治の仕事は「価値観」に係わる仕事関わる仕事

・「リベラル」対「パターナル」という対立軸で考えます。

リベラルというのは、「相手が自分と異なる思想や政治的、宗教的な信条を持っていても、お互いそれを認め合いましょう」という、多様性を認める寛容な価値観。

パターナルは「父権的」とも訳されます。家庭内で強い力を持っている父親が、特定の価値観を家族に強いる……といったリベラルの寛容さと対立する権力。

政治家が価値の問題を扱う以上、その人の価値観がリベラルなのか、それともパターナルなのかという違いは、大きな意味を持ちます。

- 1、自民党は安倍首相を中心に、価値観がパターナルでリスクの個人化を志向するIVゾーンに分類される「日本版ネオコン」が急激に増えている
- 2、野田聖子さんのようなリベラル×リスクの社会化を志向する人も、次期首相候補のひとりとして生き残っている。
- 3、世間では憲法9条の改正論や安全保障に強いタカ派というイメージの石破茂さんは、強烈な自己責任論者である一方、価値観については非常に柔軟

- ですし、彼の自己責任論は国家の自立というのを重視しているので「日米安保べったり」や「日米地位協定」のあり方にも否定的だったりする。
- 4、加藤勝信さんは比較的リスクの社会化を志向しています。安倍一強が続く今の自民党にも、辛うじて多様性が残されていると確認できたのは興味深い発見でした。

2、ラディカルデモクラシーとポピュリズム

ラディカルデモクラシー 政治の領域が狭まつてくる
結果として民主主義の低下に繋がつてくる。

調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

- 1、行政監視機能をどうやって高め、成果を上げていくか、外国人。
- 2、人口減少、外国人の増加、災害対応などなど、ちきゅうの将来を見据えた政策論議すすめるために必要な視点とはなにか？
- 3、候補者男女均等法のもとで「老老男男」の実態をどうかえられるのか。
- 4、二元代表制の意義を知らしめる。
- 5、議員の身分保障や報酬の検討を行う。
- 6、100年を見据えたまちづくりをしなければならない。

基調講演を含め実施していく。